

扱い 月	扱い時数		題材名等	題材の目標等	学習のねらい	教材名 ◆共通教材 ◎鑑賞 ☆音楽づくり	学習指導要領の内容との関連(例)												教育基本法との対照 ／他教科等との関連	
	年間計 50	A 表現									B 鑑賞		〔共通事項〕(1)に関する事 項							
		歌唱					器楽			音楽づくり					鑑賞(1)					
		ア					イ	ウ	ア	イ	ウ	ア	イ	ウ	ア	イ	ア	イ		
4	随時	〔巻頭教材〕	(1) 曲想と旋律など音楽の構造との関わりや、曲想と歌詞の内容との関わりについて理解するとともに、思いや意図に合った表現をするために必要な、各声部の歌声や伴奏、全体の響きを聴いて、自然で無理のない、響きのある歌い方で歌う技能を身に付ける。 (2) 音色、旋律、変化などを聴き取り、それらの働きが生み出すよさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴にふさわしい表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもつ。 (3) 歌詞や曲想を生かして表現することに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組み、音楽を愛好する心情を育む。		夢色シンフォニー	○	○	○									(旋律／音色)		創造性を培う／公共の精神	
	毎時	〔スキルアップ〕	(1) 曲想とフレーズや強弱など音楽の構造との関わりについて理解するとともに、呼吸及び発音の仕方に気を付けて歌う技能や、拍に合わせ全体の響きを聴いて演奏する技能を身に付ける。 (2) 音色、フレーズ、音楽の縦と横との関係、リズムや強弱を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや美しさ、面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴にふさわしい表現を工夫し、どのように演奏するかについて思いや意図をもつ。 (3) 強弱を意識して表現することに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組み、輪唱や手拍子によるリズムアンサンブルに親しむ。	(歌声とリズムのトレーニング)	花のおくりもの クラップ プレンス	○	○	○				○	○	○				(旋律／音色／強弱／音の重なり)	(旋律／音色／強弱／音の重なり) フォルテ／メzzo・フォルテ／メzzo・ピアノ／ピアノ／アクセント／速度記号	創造性を培う／公共の精神
	2	《にっぽんのうた みんなのうた》	(1) 曲想と旋律など音楽の構造との関わりや、曲想と歌詞の内容との関わりについて理解するとともに、思いや意図に合った表現をするために必要な、呼吸や発音の仕方に気を付けて、自然で無理のない、響きのある歌い方で歌う技能を身に付ける。 (2) 旋律、リズム、強弱などを聴き取り、それらの生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴にふさわしい表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもつ。 (3) 歌詞や曲の特徴を生かして表現することに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組み、日本のうたに親しむ。		◆こいのぼり	○	○	○										(旋律／リズム)		伝統と文化の尊重
5	4	1 和音や低音のはたらき	(1) 曲想と音の重なりや和音の響きなど音楽の構造との関わりについて理解するとともに、思いや意図に合った表現をするために必要な、ハ長調の楽譜を見て歌ったり演奏したりする技能を身に付ける。 (2) 音の重なりや和音の響きなどを聴き取り、それらの働きが生み出すよさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴にふさわしい表現を工夫し、どのように演奏するかについて思いや意図をもつ。 (3) 和音や低音の働きに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組み、ハ長調の主要三和音に親しむ。	低音のはたらきを感じ取って演そうしよう 和音のはたらきを感じ取ろう 和音や低音のはたらきを感じ取って演そうしよう	茶色の小びん (和音のひびきにに合わせてポーズをしてみよう。) こきょうの人々	○	○		○	○	○							音の重なり／音階／調／和音のひびき	音の重なり／音階／調／和音のひびき へ音記号／くり返し記号・番かっこ・2番かっこ／ハ長調の主な和音／ハ長調の音階	創造性を培う
	2	《音のスケッチ》	(1) 和音と旋律の関わり、旋律のつなげ方の特徴について、それらの生み出すよさや面白さなどと関わらせて理解するとともに、思いや意図に合った表現をするために必要な、音楽の仕組みを用いて音楽をつくる技能を身に付ける。 (2) 旋律や和音の響きなどを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、音を音楽へと構成することを通して、どのように全体のまとまりを意識した音楽をつくるかについて思いや意図をもつ。 (3) 和音と旋律との関わりや、和音に合わせて旋律をつくることに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組み、ハ長調の主要三和音に親しむ。	和音に合わせてせんりつをつくろう	☆和音に合わせてせんりつをつくろう							○	○	○			旋律／和音のひびき／反復／変化	旋律／和音のひびき／反復／変化		
	6	6	2 アンサンブルのみりよく〈合唱〉	(1) 曲想と声の重なる響きなど音楽の構造との関わりや、曲想と歌詞の内容との関わりについて理解するとともに、思いや意図に合った表現をするために必要な、各声部の歌声や伴奏、全体の響きを聴いて、自然で無理のない、響きのある歌い方で歌う技能を身に付ける。 (2) 音の重なりや音楽の縦と横との関係などを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、それぞれの形態の合唱の響きや演奏のよさを見いだして聴いたり、曲の特徴にふさわしい表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもったりする。 (3) いろいろな形態の合唱の響きや、自分たちで工夫して表現することに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組み、合唱に親しむ。	合唱のひびきをきき比べよう 表現をくふうしてきき合いながら歌い合わせよう	◎いろいろな合唱 花 ハロー・シャイニング ブルー	○									○	○	音色／音の重なり／縦と横との関係／強弱	音色／音の重なり／縦と横との関係／強弱	創造性を培う／幅広い知識と教養
7	毎時	〔めざせ 楽器名人〕	(1) 曲想とフレーズなど音楽の構造との関わり、リコーダーの音色と演奏の仕方との関わりについて理解するとともに、思いや意図に合った表現をするために必要な、各声部の音や全体の響きを聴いて、音を合わせて演奏する技能を身に付ける。 (2) 音色やフレーズ、拍、音楽の縦と横との関係などを聴き取り、それらのよさや美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴にふさわしい表現を工夫し、どのように演奏するかについて思いや意図をもつ。 (3) 声部のかけ合いや重なりを生かして表現することに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組み、リコーダーアンサンブルに親しむ。	かけ合いや重なりを生かして演そうしよう	星笛					○	○	○						(拍／フレーズ／縦と横との関係)	拍／フレーズ／縦と横との関係 8分の6拍子／スラー／(全休ふ〈発展〉)	創造性を培う

扱い 月	扱い時数		題材名等	題材の目標等	学習のねらい	教材名 ◆共通教材 ◎鑑賞 ☆音楽づくり	学習指導要領の内容との関連(例)												教育基本法との対照 ／他教科等との関連	
	年間計 50	A 表現									B 鑑賞		〔共通事項〕(1)に関する事 項							
		歌唱					器楽			音楽づくり					鑑賞(1)					
		ア					イ	ウ	ア	イ	ウ	ア			イ	ウ	ア	イ		
9	3	3 アンサンブルのみりよく(オー ケストラ)	(1) 曲想と楽器群の響きなど音楽の構造との関わりについて理解する。 (2) 音色、音の重なり、旋律、反復、変化などを聴き取り、それらのよさや美しさ、面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考 え、曲や演奏のよさを見いだし、曲全体を味わって聴く。 (3) 楽器群の響きや作品の背景に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体 的・協働的に学習活動に取り組み、オーケストラの音楽に親しむ。	オーケストラのひびきを楽しもう	◎組曲「カレリア」から「行進曲風に」										○	○	音色／音の重なり／旋律／反復 ／変化	音色／音の重なり／旋律／反復 ／変化		
	1	(にっぽんのうた みんなのうた)	(1) 曲想と旋律など音楽の構造との関わり、曲想と歌詞の内容との関わりについ て理解するとともに、思いや意図に合った表現をするために必要な、呼吸及び 発音に気を付けて、自然で無理のない、響きのある歌い方で歌う技能を身に付 ける。 (2) 旋律、強弱などを聴き取り、その働きが生み出すよさを感じ取りながら、聴き 取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴にふさわしい表 現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもつ。 (3) 言葉の抑揚や曲の特徴を生かして表現することに興味をもち、音楽活動を 楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組み、日本の歌曲に親しむ。		赤とんぼ	○	○	○										(旋律／強弱)		伝統と文化の尊重
	2	4 パートの役わり	(1) 曲想と拍など音楽の構造との関わりや、曲想と歌詞の内容との関わりについ て理解するとともに、思いや意図に合った表現をするために必要な、各声部の 楽器の音や全体の響き、伴奏を聴いて、音を合わせて演奏する技能を身に付 ける。 (2) 拍やフレーズ、音楽の縦と横との関係などを聴き取り、それらのよさなど感 じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特 徴にふさわしい表現を工夫し、どのように演奏するかについて思いや意図をも つ。 (3) 曲の特徴にふさわしい表現をすることに興味をもち、音楽活動を楽しみなが ら、主体的・協働的に学習活動に取り組み、フォルクローレの音楽に親しむ。	パートの役わりや曲の持ちょうを生かして演そうしよう	風とケーナのロマンス	○	○	○	○	○	○							縦と横との関係／ フレーズ／拍	縦と横との関係／ フレーズ／拍	創造性を培う
10	4	5 日本の音楽	(1) 曲想と旋律やリズムなど音楽の構造との関わりについて理解するとともに、 思いや意図に合った表現をするために必要な、呼吸及び発音に気を付けて歌 う技能を身に付ける。 (2) 旋律や音色、音の重なり、拍などを聴き取り、それらの働きが生み出すよ さや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりにつ いて考え、曲の特徴にふさわしい表現を工夫し、どのように歌うかについて思い や意図をもったり、演奏のよさを見い出して聴いたりする。 (3) 我が国に伝わる音楽の特徴や、人々の暮らしとの関わりについて興味をも ち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組み、多様な 音楽やその表現に親しむ。	わたしたちの国に伝わる歌や声の表現を楽しもう	◆子もり歌 ◎会津磐梯山／音戸の舟歌	○	○	○								○	○	旋律／音色／拍	旋律／音色／拍 フラット	伝統と文化の尊重／他国の 尊重
				せんりつつの感じを生かして民ようを歌おう	こきりこ節	○	○	○	○	○										
					谷茶前	○	○			○										
11	4	6 豊かな表現	(1) 曲想と旋律や拍など音楽の構造との関わりや、曲想と歌詞の内容との関わり について理解するとともに、思いや意図に合った表現をするために必要な、呼 吸及び発声の仕方に気を付けて、自然で無理のない、響きのある歌い方で歌う 技能を身に付ける。 (2) 旋律や拍などを聴き取り、それらの働きが生み出すよさなど感じ取りなが ら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴にふさわしい 表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもつ。 (3) 曲の特徴にふさわしい表現をする活動に興味をもち、音楽活動を楽しみな がら、主体的・協働的に学習活動に取り組み、合唱曲や日本のうたに親しむ。	せんりつつの持ちょうや音の重なりを生かして歌おう	地球の向こう側の君へ	○	○	○										旋律／音の重なり／強弱／拍／リ ズム	旋律／音の重なり／強弱／拍／リ ズム	創造性を培う
				拍の流れにのって表情豊かに歌おう	◆冬げしき	○	○	○												
12	2	(音のスケッチ)	(1) 多様な声の響きやそれらの組合せの特徴について、それらの生み出すよさ や面白さと関わらせて理解するとともに、発想を生かした表現をするために必要 な、設定した条件に基づいて、即興的に声を選択したり組み合わせたりして表 現する技能を身に付ける。 (2) 音色、音の重なり、強弱などを聴き取り、その面白さを感じ取りながら、聴き 取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、即興的な表現を通して音 楽づくりの様々な発想を得たり、どのように全体のまとまりを意識した音楽をつ くるかについて思いや意図をもったりする。 (3) 詩をもとにしていろいろな声で表現することに興味をもち、音楽活動を楽し みながら、主体的・協働的に学習活動に取り組み、音楽に対する感性を育む。	いろいろな声で音楽をつくろう	☆いろいろな声で音楽をつくろう							○	○	○			音色／音の重なり ／強弱	音色／音の重なり ／強弱	創造性を培う／国語科との関 連	

扱い 月	扱い時数	題材名等	題材の目標等	学習のねらい	教材名 ◆共通教材 ◎鑑賞 ☆音楽づくり	学習指導要領の内容との関連(例)												教育基本法との対照 ／他教科等との関連	
	年間計 50					A 表現									B 鑑賞		〔共通事項〕(1)に関する事項		
						歌唱			器楽			音楽づくり			鑑賞(1)				
						ア	イ	ウ	ア	イ	ウ	ア	イ	ウ	ア	イ	ア		イ
1	2	《にっぽんのうた みんなのうた》	(1) 曲想と旋律など音楽の構造との関わりや、曲想と歌詞の内容との関わりについて理解するとともに、思いや意図に合った表現をするために必要な、各声部の歌声や全体の響き、伴奏を聴いて歌う技能を身に付ける。 (2) 旋律、リズム、反復、変化などを聴き取り、そのよさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴にふさわしい表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもつ。 (3) 歌詞や曲想を生かして表現することに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組み、日本のうたに親しむ。		◆スキーの歌	○	○	○									(旋律／音色／音の重なり／強弱)		伝統と文化の尊重
	3	7 音楽のききどころ	(1) 曲想と旋律など音楽の構造との関わりについて理解する。 (2) 旋律、反復、変化、呼びかけとこたえなどを聴き取り、そのよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲のよさを見いだし、曲全体を味わって聴く。 (3) 曲の特徴を見いだしながら聴くことに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組み、オーケストラの響きに親しむ。	曲のおもしろいところを見つけてきこう	◎つるぎのまい								○	○	旋律／反復／変化／呼びかけとこたえ／速度	旋律／反復／変化／呼びかけとこたえ／速度	創造性を培う／幅広い知識と教養		
2	3 (選択)	8 思いをこめた表現	(1) 曲想と音楽の構造との関わりや、曲想と歌詞の内容との関わりについて理解するとともに、思いや意図に合った表現をするために必要な、各声部の音や全体の響きを聴いて、自然で無理のない歌い方で歌う技能や音を合わせて演奏する技能を身に付ける。 (2) 音楽の縦と横との関係などを聴き取り、それらの生み出すよさや美しさ、面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴にふさわしい表現を工夫し、どのように演奏したり歌ったりするかについて思いや意図をもつ。 (3) 音や声を合わせて演奏することに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、1年間の学習を生かして、主体的・協働的に学習活動に取り組み、音楽経験を生かして生活を明るく潤いのあるものにしようとする態度を養う。	気持ちを合わせて、きき合いながら演そうしよう 言葉を大切にしながら、気持ちをこめて歌おう	ルパン三世のテーマ 君をのせて				○	○	○						(今まで学んだものを生かす)		創造性を培う／公共の精神
	2	《音のスケッチ》	(1) 反復するリズムのつなげ方や重ね方の特徴について、それらの生み出すよさや面白さと関わらせて理解するとともに、思いや意図に合った表現をするために必要な、音楽の仕組みを用いて、音楽をつくる技能を身に付ける。 (2) リズムや、音楽の縦と横との関係などを聴き取り、そのよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、音を音楽へと構成することを通して、どのように全体のまとまりを意識した音楽をつくるかについて思いや意図をもつ。 (3) リズムのずれの面白さを生かして表現することに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組み、インターロックの音楽に親しむ。	ずれの音楽を楽しもう	◎クラッシング ミュージック ☆レッツゴーのリズムをずらして遊ぼう									○	○	縦と横との関係／リズム	縦と横との関係／リズム	創造性を培う／幅広い知識と教養	
3																			

扱い 月	扱い時数	題材名等	題材の目標等	学習のねらい	教材名 ◆共通教材 ◎鑑賞 ☆音楽づくり	学習指導要領の内容との関連(例)												教育基本法との対照 ／他教科等との関連		
	年間計 50					A 表現									B 鑑賞		〔共通事項〕(1)に関する事 項			
						歌唱			器楽			音楽づくり			鑑賞(1)					
						ア	イ	ウ	ア	イ	ウ	ア	イ	ウ	ア	イ				
随 時	3	〔変そう曲を楽しもう〕	(1) 曲想と旋律や音色など音楽の構造との関わりについて理解する。 (2) 旋律、音楽の縦と横との関係、変化などを聴き取り、それらの生み出すよさや美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲のよさなどを見いだし、曲全体を味わって聴く。 (3) 変奏曲に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組み、室内楽に親しむ。	変そう曲を楽しもう	◎ピアノ五重奏曲「ます」第4楽章 ます(歌曲)			○								○	○	(旋律／音色／ 縦と横の関係／ 強弱／速度)		創造性を培う／幅広い知識と 教養
	随時	〔しの笛のみりょく〕	(1) 篠笛の音色と演奏の仕方との関わりについて理解するとともに、音色や響きに気を付けて、篠笛を演奏する技能を身に付ける。 (2) 篠笛の音色や奏法の特徴を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴にふさわしい表現を工夫し、どのように演奏するかについて思いや意図をもったり、演奏のよさを見出して聴いたりする。 (3) 篠笛の音色や特徴に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組み、我が国の楽器やその音楽に親しむ。		◎長唄「越後獅子」から ほか 「かりかり わたれ」から					○	○				○	○	(音色／旋律)		創造性を培う／幅広い知識と 教養	
		〔音楽ランド〕	(各題材の発展や補充、行事や他教科との関連)		心から心へ 川はだれのもの？ 大切なもの レッツゴー!! ライダーキック ゆき (全校合唱) 音楽のおくりもの さんぽ (Short Time Learning) Auld Lang Syne Michael, Row the Boat Ashore	○	○	○	○	○									創造性を培う／公共の精神／ 外国語との関連	
	2				校歌・君が代	○	○	○											公共の精神	
		《にっぽんのうた みんなのうた》		山田耕筰・中田喜直のうた	ペチカ／星とたんぼぼ／待ちぼうけ／ちいさい秋みつけた	○	○	○											伝統と文化の尊重	